

臨床開発センター

概要

臨床開発センターでは、①新規抗がん剤の世界的開発拠点、②内視鏡や放射線などの診断・治療機器開発、③新しい支持療法・患者支援体制の開発に積極的に取り組んでいます。特にわが国が遅れていた早期臨床試験に積極的に取り組み、当センターのオリジナルな基礎研究から生まれた新規抗がん剤やがんワクチンや医療機器の開発試験も開始し、基礎から臨床への橋渡し研究(TR)を積極的に実施しています。また、新規抗がん剤開発を目指した「Phase I センター」を設置し、世界最先端の新規抗がん剤開発拠点を目指しています。



トピックス

■ Phase I センターの設置

国が指定する「早期・探索的臨床試験拠点」にがんの分野で唯一選定され、私たちは病院との緊密な連携で新しい抗がん剤の開発試験を実施するphase I センターを設置しました。新規抗がん剤の世界的開発拠点を構築し、有効薬剤をいち早く患者さんに届けます。

■ ナノテクノロジーを用いた新規抗がん剤開発

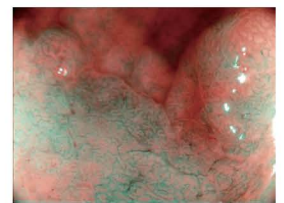
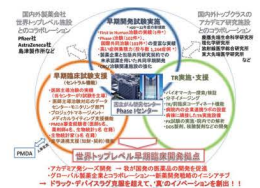
わが国の高分子化学分野の強みを活かし、私たちは抗がん剤を抗体付加あるいはキャリアに封入するという工夫をすることによって、抗がん剤の治療効果を高めると同時に副作用を軽減させるためのナノバイオテクノロジーを駆使した治療と診断法の開発を行っています。

■ 新しい内視鏡画像診断技術開発

私たちは、組織の低酸素状態を明らかにするために、企業と共同開発した新しいレーザー光源内視鏡システムを用いてがん組織の酸素飽和度の画像化を試み、がんの診断やこれまで見つけにくかったがんの早期発見につながる研究に取り組んでいます。

■ 個別化治療を目指した取り組み

がんの基礎研究の進歩により、患者さん個々のがんの遺伝子異常の診断が可能となりつつあります。私たちは東病院と臨床開発センターとの共同で、患者さんのがん組織を用いた遺伝子異常診断を行い、その結果に基づき開発中の多数の新規抗がん剤も用いて患者さん個々に最適な治療提供を行う体制を整備しています。



Tissue microarray & full genome sequencer